

# 日吉大社自然観察倶楽部通信

## No.25 もりと遊ぼう & 川遊び

H27年8月2日

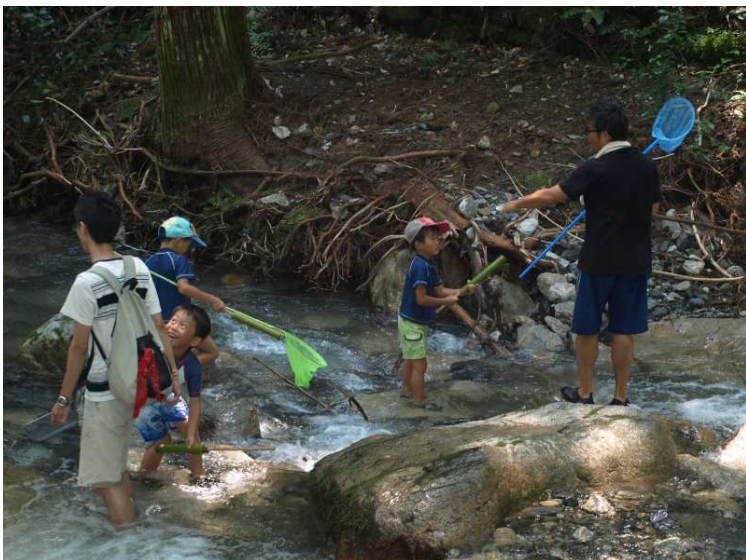
酷暑の中、25名の子ども(保護者・スタッフを入れると50名)でもり遊びと川遊びをしました。子どもの声が日吉大社に響きます。



初めに宮司の馬淵さんに「日吉大社で思いっきり遊ぶ」「夏の思い出を作る」という言葉を頂きました。川に遊びに行く前に、竹の水鉄砲を作ります。

竹筒は日吉会館に入る時に、子どもが自分で選んでいます。太さもまちまちな竹ですが、お気に入りを選びました。棒には、水を押し出すために、隙間テープを布でくるみ、糸で縛ります。竹筒に棒が入らず、苦労した人もいましたが、テープの量を調節するなど、工夫して作り上げることが出来ました。

次は、網やザルを持って大宮川に入りました。川に近づくだけでも涼しさを感じることが出来ます。川に入ると、子どもたちは水を得た魚の様に楽しそうに遊びます。水鉄砲を楽しむ子・生き物探しに熱中する子・どこまで川をさかのぼれるかチャレンジする子。歓声はお昼まで続いていました。



(右の写真は参加者のバケツの中。サワガニ・ヘビトンボの幼虫・カワムツです。)



お昼ご飯は、好きな場所で良かったので、皆思い思いの場所で過ごしました。  
川原でお弁当を広げている姿も目立ちました。

昼からは、2班に分かれて、もり遊び・ネイチャーゲームの時間です。



まずは、**同じもの探し**(写真左)です。白い布にくるんだ枯れ木や葉を一瞬だけ子供に見せます。ヨーイ、ドンで記憶の中にあるものと同じものを探します。「あれ、何だったっけ?」「こんな形じゃなかったかな」「もう一回見せて」など子どもたちは頑張って探していました。

**動物ヒントリレー**(写真右)では、散らばったカードから一つをめくって、みんなの所に帰ります。ヒントの情報を集めて、どんな動物か当てるのです。

最後に、クラフトをしました。**木の人形「モックン」**です。わいわい、がやがや、自分だけのクラフトを作りました。お父さんに任せきりな子・紐をぐるぐる巻いて模様を作る子など、人それぞれです。

遊び足りなかったのか終わると同時に、また川へ遊びに行く子もいました。「楽しかった」「また、来たいな」と言う子もいて、いい夏休みの思い出が出来たのではないかと思います。



詳しくは [日吉大社自然観察倶楽部HP](http://hiyositaishasizenkansatu.jimdo.com)にて

<http://hiyositaishasizenkansatu.jimdo.com>